

## 令和元年度 第3回安曇野市図書館協議会 会議概要

|   |           |   |
|---|-----------|---|
| 1 | 審議会名      | 令和元年度 第3回安曇野市図書館協議会   |
| 2 | 日 時       | 令和2年3月11日 午後1時30分から午後2時30分まで                                    |
| 3 | 会 場       | 安曇野市豊科交流学習センター 多目的交流ホール   |
| 4 | 出席者       | 三澤会長、別府副会長、濱野委員、初谷委員、田守委員、古川委員、樋口委員、鈴木委員                        |
| 5 | 市側出席者     | 那須野文化課長、遠藤豊科図書館長、金子三郷図書館長、百瀬堀金図書館長、伊藤明科図書館長、高嶋中央図書館長、奈良澤係長、中山主査 |
| 6 | 公開・非公開の別  | 公開  |
| 7 | 傍聴人       | 0 人   |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 令和2年3月14日   |

### ○会議の概要

- 1 開会 (奈良澤係長)
- 2 あいさつ (三澤会長・那須野課長)
- 3 報告事項
- 4 協議事項
  - (1) 令和2年度 安曇野市図書館事業計画について
  - (2) 第70回 長野県図書館大会について
  - (3) その他

- 5 その他
- 6 閉会 (那須野課長)

### 3 報告事項概要

新型コロナウイルス感染症 安曇野市図書館の感染拡大防止の対応について

事務局より説明

### 4 協議事項概要

- (1) 令和2年度 安曇野市図書館事業計画について

事務局より説明。

議 長 事務局より前回からの変更点ということで説明いただいた。質問・意見ございますか。

委 員 図書館管理システムの更新とあるが、具体的な内容を教えていただきたい。また、データベースの活用についてとあるが、データベースだけだと分からないので、説明をお願いしたい。

事務局 現在運用している図書館管理システム、また、それに関わる情報機器としてサーバー及び全端

末の8割くらいになる主要部分の更新を行う。データベースの活用については、主に中央図書館でサービス提供をしている、商用データベースの活用促進ということになる。

委員 システム更新の意図をお聞かせ願いたい。

事務局 リース期間満了に伴う更新ということになる。

議長 他はよろしいか。

委員 子ども向けのサービスはあるが、肢体不自由などで外出することが少ない高齢者にも、コミュニケーションの機会が持てるようなサービスも検討していただきたい。

事務局 ご意見として頂戴する。

委員 配本業務による配本先一覧というのがあるが、施設でどのように利用されているか把握しているか。

事務局 貸出先は、各館館長が把握している。安曇野日赤では、2階に図書スペースがあり、ボランティアにより運営されている。

委員 全部合計すると450冊くらいになるが、有効に利用されているか。

議長 利用状況が分かる館長おりますか。

館長 児童館・児童クラブでは、子どもたちが読んでいるし、デイサービスでは、皆が集まったところで紙芝居や読み聞かせを行っている。

館長 各施設とも必要としている資料の要望を出してもらっているので、需要を満たしていると思う。

委員 かつて地域を回る移動図書館があったが、なかなか図書館を利用できないときに有効かと思うので、現状をお聞きし運用を希望したい。

事務局 安曇野市として各地域の図書館整備を進める中で廃止となった。現状では、運用を開始するのは難しい状況である。

議長 先へ進めさせていただく。第70回長野県図書館大会について事務局より説明をお願いしたい。

## (2) 第70回長野県図書館大会について

事務局より説明。

議長 図書館大会についてはよろしいか。この予定で進めさせていただく。

次に、その他「安曇野市図書館の特色ある資料収集計画」「安曇野市選書のあり方ガイドライン」についてお願いしたい。

## (3) その他

事務局より説明。

議長 そのような選書基準を設けて選書しているということだが、ご意見・ご質問ありますか。

委員 選書のガイドラインの中に、MARCという語が出てくるが良く分からない。

事務局 専門的な部分になるが、書誌データのことになる。

委員 MARC TRC というのは、一言でいうとどういうものか。

事務局 MARCが本の検索などに使う書誌データで、そのデータを作っているのがTRCという業者になる。

委員 各館の所蔵予定数というのがあり、既に達している館もあるが新しい本を入れないということか、また、資料収集の方針は図書館の大事な部分であり、人気があるものだけ入れていくのではなく、幅広く所蔵していくことが必要だと思うが、基本的な姿勢を伺いたい。

委員 各図書館、特徴を出そうということで記載されているが、収蔵の比率配分をもう少しメリハリをつけてもいいのではないか。

委員 地域で特色を持った個人の収集物が、高齢化によって無くなっていってしまうのは惜しいので、リスト化して対応することはできないか。

事務局 所蔵が既に予定より上回っていても、新鮮な資料を提供していくことは必要なので、収蔵状況を考えながら整備していきたい。選書についても、各館基本的なベースのものは入れており、また、専門書・調べ学習用の本・地域資料など収集し、人気があるものについても一定のルールを決め入れている。収蔵比率或いは地域資料の収集などで各館の特色を出すようにしているので、細かな点についてご意見があるようなら別途いただきたい。最後、個人の収蔵資料については、図書館として把握するのが難しいので、文書館等と連携する中で対応していきたい。

議長 地域資料については、所蔵するのが、図書館なのか、文書館なのか、公民館なのか、明確にしていく必要があるのではないか。

委員 事業計画に戻ってしまうが、推進事業のところに広報活動があるけれども、身近に手軽に利用できる携帯電話への、情報発信の推進を期待したい。

議長 ではここで、委員よりの配布資料があるので説明をお願いしたい。

委員 自分の経験から得たものを記載し、資料として出させていただいた。地域にはいろいろなことを知っている人がいて、それがまたつながりを持っているので、知恵袋として一つのデータベースにできないかと思っている。図書館が関わって、公民館や高齢者の団体などと連携し、データを集めればどうか。

議長 本日は予定した終了時間もあるので、この意見についての協議は次回とさせていただきます。

以上で、協議を閉じさせていただきます。

以上